

皆様、今年もお世話になりました。メリークリスマスです。

## 今年のM.Y.ツリー

「何にしようか」と考えたあげく、自由が丘のお店でガラスボールのオーナメントと出会ってしまいました。「欲しい、でも一個400円もする。私の大きなツリーを飾るには20個は欲しいもんな」と悩んでいたところ、10月に結婚したお友達のSUZU(すー)ちゃんが封筒に入った金一封をくれました。「結婚式の時に私とダメよ。要らないよ」「いや、ダメよ。ちゃんともらつて」。ムギュ、ム

みなさん、今年も楽しく正しくクリスマスを迎えていらっしゃいますか?日本クリスマス協会も今年ではや創立3年。「正しく、楽しい日本のクリスマス普及」のためこの「月刊クリスマス」も、名前の通り「月刊」を目指しましたが、のびのぶ編集長が多忙だつたため、やつぱり今年も年刊「月刊クリスマス」になってしまいました。残念なことです。来年こそはもっともっとクリスマスを愛する人たちを増やしてゆきま

どうがんばっても年に一度しか出せない

# 月刊クリスマス

発行: のびのぶ工房  
発行人: のびのぶ編集長

**栗須増子会長のあいさつ** (ホントはのびのぶ編集長)

みなさん、今年も楽しく正しくクリスマスを迎えていらっしゃいますか?

日本クリスマス協会も今年ではや創立3年。「正しく、楽しい日本のクリスマス普及」のため死力を尽くしてまいりました。

この「月刊クリスマス」も、名前の通り「月刊」を目指しましたが、のびのぶ編集長が多忙だつたため、やつぱり今年も年刊「月刊クリスマス」になってしまい

ました。残念なことです。来年こそはもっともっとクリスマスを愛する人たちを増やしてゆきま

しょう。

は引き続き、日本および世界支局を募集しています。お説い合わせのうえ、あなたの町のクリスマス支局長になります。

ノルマはありません。「クリスマス」と聞くとワクワクする人なら誰でも大丈夫です。そして楽しいクリスマス原稿をお待ちしています。来年は日本推理作家大和伴彦氏が日本クリスマス協会・文芸部を設立する予定です。お楽しみに。

あなたは企業などの団体には向いてません」。

理由その(1)

あれは就職活動を前に、新しい門出に胸ときめかせていた大学4年生の4月。「どんな会社がいいかなー」とちよいとくぐった占い屋さんでの第一声がコレでした。「商社なんていいなあ。合コンもパリパリだらうし」などという女子大生のささやかな夢は吹き飛ばされ、そのままアメリカに浮遊。

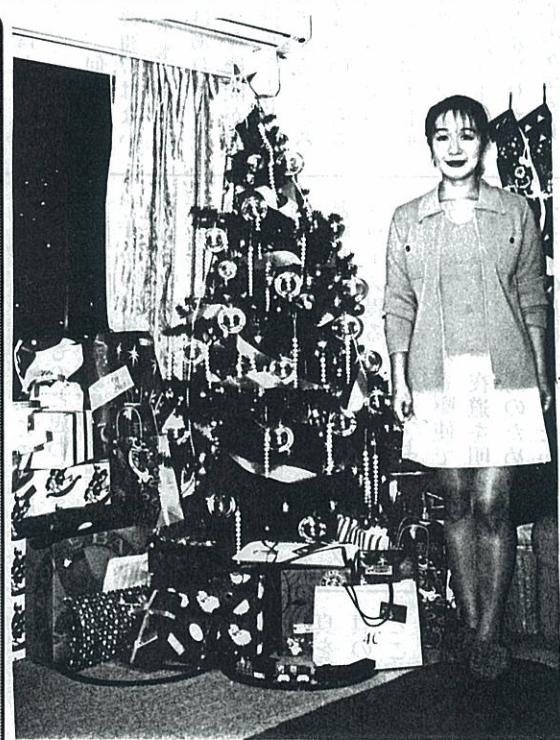
帰国後、気を取り直して日本医療企画で「ホスピタウン」という健康雑誌の編集をしておりましたが、どうとう今年の6月、占い師の予言通り(?)、会社を辞め、フリーランスのライターになりました。

恥ずかしがり屋さんなので、まだ営業に行つませんが、SP A支局の大久保かおり支局長や、元医療企画の先輩方、その他出版

社の知り合いの方に色々なお仕事をいただき、なんとか第一歩を踏み出せました。もう、コレ以上自由な仕事はないので、のんびりのびのび頑張る予定です。

理由その(2)

のびのぶ編集長が負けて、ありがたく頂戴し、ガラスのオーナメントを貰わせていただきました。新宿、渋谷から程近い(タクシーで1000円くらい)の渋谷区代々木というところです。勝手に「クリスマスの館」と命名しました(ホントにそうなんですか?)。駅は小田急線の参宮橋と京王新線(都営新宿線)の初台というところから徒歩7分、私の足で徒歩10分。代々木公園やオペラシティ、新国立劇場、ロッテの重光オーナーのおうちなどが近くにあって楽しいところです。



ワタクシここでスマセング報告いろいろ

やつぱり遊牧民族でした

もともと、農耕民族系ではないと思つてしましたが、今年はとくに遊牧民族でした。

あなたは企業などの団体には向いてません」。

理由その(1)

あれは就職活動を前に、新しい門出に胸ときめかせていた大学4年生の4月。「どんな会社がいいかなー」とちよいとくぐった占い屋さんでの第一声がコレでした。「商社なんていいなあ。合コンもパリパリだらうし」などという女子大生のささやかな夢は吹き飛ばされ、そのままアメリカに浮遊。

帰国後、気を取り直して日本医療企画で「ホスピタウン」という健康雑誌の編集をしておりましたが、どうとう今年の6月、占い師の予言通り(?)、会社を辞め、フリーランスのライターになりました。

恥ずかしがり屋さんなので、まだ営業に行つませんが、SP A支局の大久保かおり支局長や、元医療企画の先輩方、その他出版

社の知り合いの方に色々なお仕事をいただき、なんとか第一歩を踏み出せました。もう、コレ以上自由な仕事はないので、のんびりのびのび頑張る予定です。

理由その(2)

のびのぶ編集長が負けて、ありがたく頂戴し、ガラスのオーナメントを貰わせていただきました。新宿、渋谷から程近い(タクシーで1000円くらい)の渋谷区代々木というところです。勝手に「クリスマスの館」と命名しました(ホントにそうなんですか?)。駅は小田急線の参宮橋と京王新線(都営新宿線)の初台というところから徒歩7分、私の足で徒歩10分。代々木公園やオペラシティ、新国立劇場、ロッテの重光オーナーのおうちなどが近くにあって楽しいところです。

ただ、ここもペット不可なので、柴犬ちゃんと暮らせるのはもう少し先になりそうです。それと、スーパーがないので、お肉屋さんや八百屋さんに直接、「〇〇局を募集しています。お説い合

う少し先になります。それと、「大事、大事病」が災いしましょ

越します」と宣言し、そうしました。

のびのぶ編集長も4女として、柴犬ちゃんと暮らせるのはもう少し先になります。それと、「大事、大事病」が災いしましょ

う少し先になります。それと、「大事、大事病」が災いしましょ

なつてしましました。

こんなに一生懸命引つ越しに、長崎に行きましたが、マミーの「ビードロ」ふいてきたんです。もうしばらくは、「ビードロ」ふいてきたんだよ」と言いました。もうしばらくは農耕民族でいたいと思いま

ます。それで、柴犬ちゃんと暮らせるのはもう少し先になります。それと、「大事、大事病」が災いしましょ

う少し先になります。それと、「大事、大事病」が災いしましょ



今年も爆走。たくさん本を出しました。新刊「エア・ホスピタル」(講談社)読んでね。